別紙

次期計画の方向性(案)



佐賀県嬉野市 企画政策課

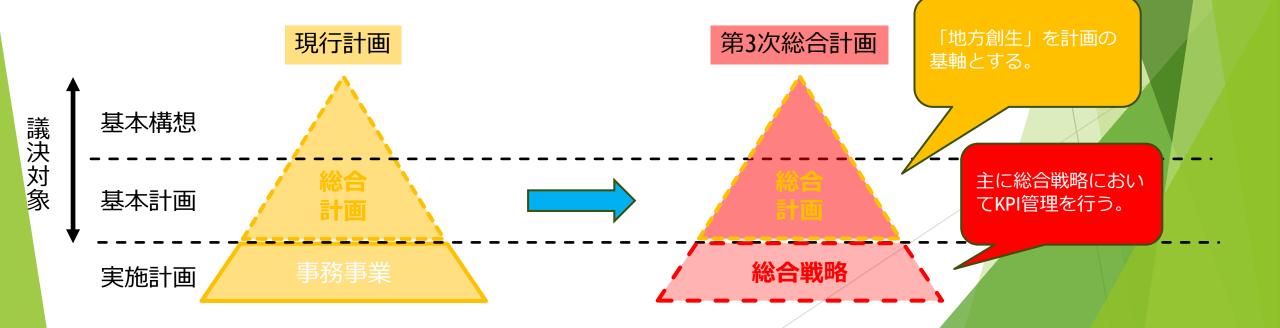
現行総合計画・総合戦略の計画期間



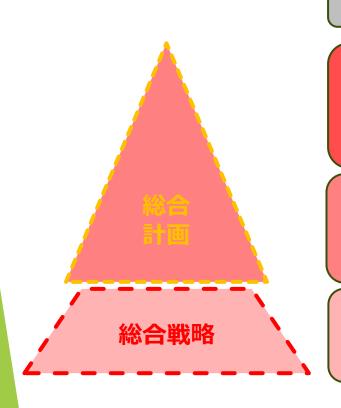
※前期基本計画までの指標管理は、総合計画・総合戦略のそれぞれで実施。 後期計画からは、「市の愛着度」「定住意識」「幸福度」の3つを評価指標に設定。 次期計画はR8年9月議会での提案を予定している。このため総合戦略については、 現行計画を2年間延長している。

第3次総合計画の構成(総合戦略との関係)

- ★計画体系統合のポイント
 - ・現行の総合計画は、計画の内容が総合戦略と重複している部分がある。(前期計画においては、指標が重複する項目も散見)後期計画において定量的目標は、総合戦略をはじめとする個別計画において測定することとし、「市の愛着度」「定住意識」「幸福度」の3つを評価指標に設定している。
 - ・総合戦略のテーマである「地方創生」を第3次総合計画の基軸とし、総合計画と総合戦略の関係性を再構築する。
 - ・これまでの実施計画部分が総合戦略となり、主にKPI管理を行う。



第3次総合計画・総合戦略の計画期間



2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 R11 R12 R13 R14 R15

【第3次嬉野市総合計画】 基本構想[2026(R8)~2033(R15)(8年間)] まちの将来像・まちの進むべき方向性を定める

■本計画[2026(R8)~2033(R15)(8年間)]
施策の体系等

総合戦略=実施計画[2026(R8)~ 2029(R11)(4年間)] 概ね4年間 総合戦略=実施計画[2030(R12)~ 2033(R15)(4年間)] 概ね4年間

まとめ

- ★総合戦略のテーマである「地方創生」を第3次総合計画の基軸とし、総合計画と総合戦略の 関係性を再構築する。
- ★これまでの実施計画部分が総合戦略となり、主にKPI管理を行う。
- ★多様な市民が計画策定に参画できる手法を検討。市民や職員にとって 「わかりやすい計画」を目指す。